

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



アザミ

床屋さん
4(月)
13(水)
19(火)



ユーモアくらぶ

時代は変わった。
夫はゴミ袋を手にした。
台所にも立った。
その日、
一番遅く床に着いた。
朝がきて、
最初に起きだして
きたのも夫だった。

天声珍語
うむー
昨日は
何を食べたか
仲間の名前
すら
忘れる事あり。
記憶の
引き出しは
相当に
ゆがんできた
ようである。
漢字を書く
のも容易で
はない。
私の
漢字の引き出
しを
開けてみよう。
旅・酒・雲
月・詩・情
そして母
書けるのは
これぐらい。
ある。
新しい漢字を
覚えたのだ。
中性脂肪に
泌尿器科(アス)

実リ待つ田畑に

田を渡る風はもう秋のそよみ
でいた。

緑の波の上にはとんぼの群れ。

これだけの景色に

あじわい深い

秋がありました。

名歌

アカシヤの街檝なみきに

ホプラに秋の風

吹くがかなしと

日記に残水リ

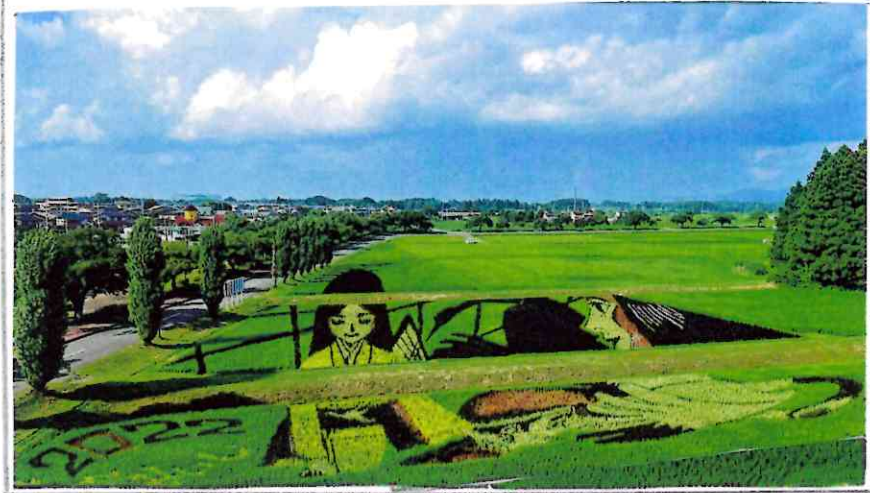
啄木



(聞こえてくるのは沢の音、鳥のさざめき)

風物詩

「田んぼアート」



旅...

こんな石碑
ありました。



(田毎の月)

思い出写真館 機関車と脱穀機



1969.9月 (小海線)

? ふるさと自慢

帝国ホテルにも
使われていました。

(石)

峠の釜めしの
釜は

(焼)

旬...

鯛たい



春は桜鯛
秋はもみじ鯛
と、呼ばれている。

雑草という草はない

牧野 富太郎

すべての物に
名前あり。命あり。

午後のひととき



(焼)